

平成18年6月30日
<問い合わせ先>大臣官房 技術調査課
(内線 22353)
TEL : 03-5253-8111 (代表)

資材価格に関する検討委員会(第1回)の議事概要について

標記の委員会について、以下のとおり開催されましたのでお知らせします。

(開催日時)

平成18年6月23日(金) 15:00~17:00

(場所)

国土交通省 2号館 低層棟 共用会議室6

(出席者)

委員長：こばやし逸太先生(東海大学政治経済学部教授)
委員：こばやし康昭先生(足利工業大学工学部教授)
すずき鈴木恭蔵先生(東海大学法科大学院教授)
とみやま富山恭道先生(富山公認会計士・税理士事務所所長)
まるやま丸山淳一先生(財団法人資源探査用観測システム・
宇宙環境利用研究開発機構 常任監事)

オブザーバー： 国土交通省総合政策局建設振興課労働資材対策室
(財)経済調査会
(財)建設物価調査会
(財)日本建設情報総合センター

(議事概要)

事務局説明

- (1) 建設資材価格に関する課題
- (2) 海外資材の状況について

意見の概要

- (1) 各資材の価格の形成の中には、それぞれ特有の商習慣によるものも含まれている。公共事業に関する資材については、その資材の特性に応じて商慣習といえども透明性を確保できる調査の在り方が求められる。
- (2) 発注者が特定資材を一括購入し、施工者に支給する方法は資材価格の透明性を高める上で効果的ではないか。
- (3) セメントなどの例を見ると海外資材の価格は国際的な輸出入確保のための実績づくりによる影響もあることを考慮する必要がある。
- (4) 資材価格は民々の問題ではあるが、行政は競争性をいかに働かせるか環境を整備して行く役割があるのではないか。